

第 30 回 渋谷健一奨励賞

本賞は、渋谷健一先生（元本学理事長）の本学創立百周年を記念した篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、本学に在学する学生のうち、学術、文化、体育等の活動を通じて、卓越した成果を収めた者（団体を含む）を対象に授与するものです。

【学術・文化の分野（団体）】

鈴木雄大 佐藤雄飛 奥水天美 浅尾亮太	経済学部 3年 法学部 3年 法学部 3年 商学部 3年	日本銀行主催「第12回日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」において投稿した論文が、全国から応募のあった118編の応募論文から選ばれた5本の中に入り決勝大会に進出となり、「敢闘賞」を受賞した。
精密機械工学研究部	学友会理工連盟	「第23回かわさきロボット競技大会」にて出場した“return of F”が機体構造やユニークさを評価され231チーム中10チームのみ選出される「特別戦出場賞」を受賞した。 (齋藤佑朔・望月雄斗・上野文也)

【学術・文化の分野（個人）】

加茂川 隆至	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	修士研究を自動車技術会論文集（47巻6号，pp.1381-1386，2016）に掲載し、自動車技術会「大学院研究奨励賞」を受賞した。また同研究「無段変速車の加速音に着目した加速感推定モデルの構築」に関する研究成果を特許に申請した。
関根 幸輝	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	食品の鮮度保持を目的としたオゾンマイクロバブル含有氷の連続製造システムを開発し、製造された氷の融解時の放出オゾンガス濃度の特性を検討の結果、オゾンガス濃度は1週間後でも十分な殺菌・消臭効果があることを明らかにした。 平成28年度日本冷凍空調学会「会長奨励賞」を受賞した。
富田 健	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	イギリス・ロンドンにて行われた国際会議 The 19th International Conference on Climbing and Walking Robots and Support Technologies for Mobile Machines (CLAWAR 2016) において、107件の投稿論文のうち最も優れた1件が選ばれるBest Technical Paper Awardを受賞した。
吉浜 舜	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	カナダで開催されたInternational Conference on Advanced Intelligent Mechatronicsにおいて口頭発表を行うとともに、600件を超える論文の中で投稿した論文がBest Student Award Finalist賞を受賞した。
中村 将大	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 電気電子情報通信工学専攻	高い磁気異方性を持つ磁性材料を用いた薄膜の構造と磁気特性に関する研究が、International Conference of the Asian Union Magnetics SocietiesにてConference Chair Awardを受賞した。
小宮山 剛司	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 応用化学専攻	査読付き英語論文を2報発表した（速報1、総説1）。国内外の多くの学会でも研究成果を発表し、第71回有機合成化学協会関東支部シンポジウムでは若手講演賞を受賞した。
塚原 菜那	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	第27回有機金属化学国際会議において「Convenient Synthesis of New Tetraaryldiborane(4) and Its Reduction」がStudent Award、第27回基礎有機化学討論会において「テトラアリアルジボラン(o-tol) ₂ B-B(o-tol) ₂ の反応性」がポスター賞を受賞した。
村山 千明	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	日本油化学会第55年会（2016年9月）において発表した論文（要旨集p.128，番号ID-12）が優秀と認められ、学生奨励賞を受賞した。
山本 莉紗	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	オルトフェニレンジアミン／オルトベンゾキノジイミンFe(II)錯体による光脱水素システムの構築に関する研究を、4件の国内学会及び2件の国際会議（米国、イタリア）において本人が発表し、錯体化学会第66回ポスター賞を受賞した。
横幕 恭子	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	酸素輸送蛋白質であるヘモグロビンを遺伝子組換えイヌ血清アルブミンで包み込んだ構造の（ヘモグロビン-遺伝子組換えイヌ血清アルブミン）クラスターを合成し、それがイヌ用人工血液（赤血球代替物）として機能することを明らかにした。本成果は動物医療の現場が抱える深刻な輸血液確保の問題を一気に解決する革新的発明であり、動物の輸血療法に大きな貢献をもたらすものと期待される。IUPAC 12th International Conference on Novel Materials and their Synthesis(NMS-XII)においてポスター賞を受賞した。
中井 葉子	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	自己推進能力を有する蛋白質マイクロチューブを合成し、その自走方向を磁力によって制御することを可能にした。さらにチューブ外表面に大腸菌を効率よく捕捉させることに成功した。本成果はバイオテクノロジーに新たな指針を示すものであり、細菌除去や薬物輸送に応用できる革新技術として、大きな注目を集めている。第6回CSJ化学フェスタ2016において優秀ポスター発表賞を受賞した。

【体育の分野（団体）】

陸上競技部	学友会体育連盟	第85回日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ）4×100mリレーにおいて優勝し、4連覇を達成した。 (川上拓也・谷口耕太郎・諏訪達郎・竹田一平)
-------	---------	---

【体育の分野（個人）】

五十嵐 優	法学部 3年 (バドミントン部)	2016年日本ランニングサーキット大会の男子シングルスにおいて優勝を果たし、2017年日本代表のA代表に選出された。
長野 凌生	文学部 1年 (水泳部)	第33回日本身体障がい者水泳選手権大会において、男子50m自由形（S13クラス）及び男子100m自由形（S13クラス）で、共に日本新記録で優勝した。

第 24 回 三重野康・高木友之助記念学術奨励賞

本賞は、三重野康元日本銀行総裁及び高木友之助元総長の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、学部学生のうち、経済、金融、政策等の諸科学の分野で、卓越した成果を収めた者に授与するものです。

松 本 涼	経済学部 4年	<p>演習論文「金融政策の評価ーボラティリティに注目して」</p> <p>本論文では、量的・質的金融緩和政策（QQE）導入後の日本銀行の金融政策の分析がなされている。とりわけ、サプライズ的な金融政策運営を考慮に入れ、アナウンスメント効果に着目した金融政策の評価がなされている。この分析における、本論文の独自性として、QQE以降の金融政策について、政策発表時の視点から、資産価格を中心に評価を行っている。また、EGARCHモデルを使用し、ボラティリティを含めた解釈を行っている。</p> <p>このような分析の結果として、QQE以降の政策変更は、長期金利を押し下げ、円安をもたらし、株価を上昇させる効果を持っていた可能性が高く、さらに、金融政策変数については、金利、ボラティリティともに、有意となるものが少なかった。これは、情報が伝達の素早い変化によって、「1日先」の予期されない変化がほとんど存在しない可能性が考えられる。</p> <p>新発10年物国債について、金利は低下させられているものの、ボラティリティそのものについては、有意で正の値を取っている。これは、QQEの導入以降、不確実性が大きくなった可能性が考えられる。</p> <p>このような分析および結果を得るにあたり、先行研究を十分に考慮して、それらの問題点を検討して、独自のデータ分析を試みている点は、大いに評価できると考える。</p>
清 水 克 那	商学部 4年	<p>演習論文「企業のイノベーションがパートナー企業の生産性に及ぼす影響ー自動車産業を対象とした実証分析ー」</p> <p>局所的な技術変化が大域的システムに及ぼすインパクトの解明を目指したものである。海外のトップジャーナルを渉猟して仮説を構築し、計量経済学のアドバンス・トピックを独力で勉強して論文を執筆した。</p> <p>更に、本論文は2016年度第17回商学部演習論文大会において、商学部長賞（経営部門）を受賞した。</p>

第 22 回 船木勝馬学術奨励賞

本賞は、船木勝馬氏の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、アジア諸国・地域からの留学生を対象とし、卒業論文、修士論文又は研究論文が、優秀と認められた者に授与するものです。

姜 永 洙	大学院商学研究科 博士課程前期課程 商学専攻	<p>修士論文「災害時のサプライチェーンにおけるBCPの効果についての一側面～特に自動車メーカーのサプライチェーンの頑健性とレジリエンシーに着目して～」</p> <p>2013年度商学部演習論文発表会において、C-Com, 21（商学部0B・0G会）賞を受賞した演習論文「ダメージ・コントロールとしての事業継続計画～東日本大震災以後の製造業の動向をふまえて～」よりBusiness Continuity Managementの研究に取り組み続け、University of Wisconsin-Madisonへの留学を経て完成させた。</p> <p>欧米の豊富な先行研究を整理・検討し、それらをわが国のBCPを活用したサプライチェーンの実態と関連させながら考察している点で、まだ解明されていない問題に正面から取り組んだ独自性豊かな論文となっている。</p>
-------	------------------------------	--

第 22 回 水野富久司スポーツ奨励賞

本賞は、水野富久司氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として陸上競技部選手の育成に資することを目的として、陸上競技部に所属する学生のうち、長距離選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

堀 尾 謙 介	経済学部 2年 (陸上競技部)	<p>・第93回 東京箱根間往復駅伝大会</p> <p>関東学生連合の一員として中央大学陸上競技部で唯一出場し、第2区23.1kmを1時間12分24秒で完走した。</p> <p>・上記大会の関東学生連合メンバーを選抜する、10000m記録挑戦競技会において、本学歴代4位の28分34秒54の好タイムを記録した。</p>
---------	--------------------	---

第 20 回 瀧野秀雄学術奨励賞

本賞は、瀧野秀雄氏の篤志を尊重し、少壮気鋭の研究者の研究活動を奨励することを目的として、本学准教授、助教若しくは専任講師又は大学院に在籍する学生であって、産業や技術開発の国際化にともなう知的財産権に関する研究論文が優秀と認められた者に授与するものです。

猪 瀬 洸 樹	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	<p>論文「腰部の形状を考慮した空気圧アクチュエータによる内骨格型パワーアシストスーツの開発および補助効果検証」は日本ロボット学会誌に採録決定し、新規性の高さから特許出願に至った。また、今年度、著名な国内学会4件、査読付きの権威ある国際学会2件で研究発表を行った。</p>
船 木 亮 佑	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	<p>研究業績「虚血性疾患治療剤の開発」</p> <p>当該技術は特許出願（出願人：中央大学、特願2016-13448）を済ませた後、研究論文として、第23回日本血液代替物学会年次大会において発表された（要旨査読有）。さらに2016年度内に一流科学雑誌への論文投稿を予定している。</p> <p>本成果は虚血に伴う組織障害に対し、組織保護効果を示す虚血性疾患治療剤の発明であり、人類の健康・福祉に大きな貢献をもたらすものと期待される。</p>

第 20 回 茨木龍雄学術奨励賞

本賞は、茨木龍雄氏の篤志を尊重し、都市環境学の分野における有為な人材の育成に資することを目的として、理工学部都市環境学科及び大学院理学研究科都市環境学専攻に在籍する学生であって、都市環境学に関する研究及び人物がともに優秀と認められた者に授与するものです。

関口 萌々子	理工学部 4年	研究題目「2015年版ISO2394に基づくボックスカルバートの信頼性設計」 都市環境学科卒業研究発表会において、最優秀発表の評価を受けた。 卒研の活動の一環として作成したISO2394付属書の邦訳や、ここに記されたLQI(=Life Quality Index)の国別評価、目標信頼性水準への反映事例の資料は、土木学会の専門委員会に提出、活用され、高い評価を受けている。 また、在学4年間を通じて学業成績、人物ともに優秀であると認められる。
高橋 直希	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 都市環境学専攻	研究題目「メソスケール細孔内における微視的機構に基づいた水分移動モデルの構築」 セメント系材料における水分移動現象を詳細に把握することを目的とし、微視的な視点に基づいた水分拡散モデルの構築を行った。修士論文発表会において、特に優れた研究発表を行ったとの評価を得ている。 コンクリート工学年次論文集に査読付き論文を投稿し採択され、研究成果の講演を行った。また、国際会議 (Mechanics and Physics of Creep, Shrinkage, and Durability of Concrete and Concrete Structures : Concreep-10) にも参加し発表を行った。更に、3つの雑誌 (内2つは英文) に研究成果を論文として投稿しており現在査読中である。

第 20 回 久保田昭夫・久保田紀昭女子スポーツ奨励賞

本賞は、久保田昭夫氏及び久保田紀昭氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として女子選手の育成に資することを目的として、学生会体育連盟の部会に所属する女子学生であって、選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

山本 怜	文学部 3年 (女子卓球部)	平成28年度 第13回 全日本学生選抜卓球選手権大会 第83回 全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部) 天皇杯・皇后杯 平成28年度 全日本卓球選手権大会	女子シングルス 女子シングルス 女子ダブルス	優勝 準優勝 ベスト4
ヘンプヒル 恵	文学部 2年 (女子陸上競技部)	第100回 日本陸上競技選手権大会 (混成競技) 第 85回 日本学生陸上競技対校選手権大会 (インカレ) 第 95回 関東学生陸上競技対校選手権大会	七種競技 (日本歴代2位/2連覇) 七種競技 (2連覇) 女子100mハードル (2連覇) 女子七種競技 (2連覇)	優勝 優勝 優勝 優勝

第 63 回 学員体育会賞

本賞は、体育の業績において優秀な成績を挙げた本学の学生、団体に対し授与するものです。

【優秀団体賞】

バレーボール部	第69回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 (3連覇15回目) 平成28年度 秋季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦		優勝 優勝
準硬式野球部	第68回 全日本大学準硬式野球選手権大会 平成28年度 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 (3季連続61回目) 第58回 関東地区大学準硬式野球選手権大会		優勝 優勝 優勝
自動車部	平成28年度 全日本学生自動車連盟 年間総合杯 平成28年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会 平成28年度 全日本学生自動車連盟 関東支部年間総合杯 平成28年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会	男子団体の部 男子団体の部 男子団体の部 男子団体の部	優勝 優勝 優勝 優勝
バドミントン部	第67回 全日本学生バドミントン選手権大会 (インカレ)	男子団体	優勝
軟式野球部	第39回 全日本学生軟式野球選手権大会 平成28年度 東都学生軟式野球春季リーグ戦		優勝 優勝

【優秀団体部門賞】

自動車部	平成28年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会	女子団体の部	優勝
フェンシング部	2016年度 全日本学生フェンシング選手権大会 (インカレ) 第66回 全日本学生フェンシング王座決定戦 第68回 関東学生フェンシング選手権大会	男子エペ 男子エペ 男子サーブル	優勝 優勝 優勝

【努力団体賞】

スケート部	秩父宮杯 第64回関東大学アイスホッケー選手権大会 平成28年度 関東大学アイスホッケーリーグ戦 (2連覇)		優勝 優勝
ボート部	第43回 全日本大学選手権大会 (インカレ)	男子舵手なしフォア 男子舵手なしクォドルプル	優勝 優勝
剣道部	第65回 関東学生剣道優勝大会	男子団体	優勝
拳法部	日本拳法 第10回東日本大学女子選手権大会	団体	優勝

【特別賞】

スケート部	第28回 ユニバーシアード冬季競技大会 金子将太郎（法2）・加藤慎之助（総4）・鈴木健斗（法4）・小泉智也（法3）・乾純也（総3）	アイスホッケー男子	日本代表
-------	--	-----------	------

【リレー賞】

陸上競技部	第85回 日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ） 川上拓也（法3）・谷口耕太郎（商4）・諏訪達郎（法4）・竹田一平（総2）	男子4×100m（4年連続）	優勝
-------	--	----------------	----

【優秀選手賞】

矢後太規	法学部 4年 （相撲部）	第65回 全日本相撲選手権大会	優勝
砂間敬太	法学部 3年 （水泳部）	第92回 日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）	男子200m背泳ぎ 優勝
宮下敬	総合政策学部 4年 （自動車部）	平成28年度 全日本学生自動車連盟 年間総合杯 平成28年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会 平成28年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会 平成28年度 全日本学生自動車連盟関東支部 年間総合杯 平成28年度 全関東学生自動車運転競技選手権大会 平成28年度 全関東学生ジムカーナ選手権大会	男子個人の部 優勝 男子小型貨物個人の部（2連覇） 優勝 男子個人の部 優勝 男子個人の部 優勝 男子小型貨物個人の部 優勝 男子個人の部 優勝
前岡春花	経済学部 4年 （自動車部）	平成28年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会	女子小型乗用個人の部（2連覇） 優勝
簗島圭悟	法学部 2年 （スケート部）	第8回 アジア冬季競技大会（2017/札幌）	アイスホッケー男子 3位
ヘンブヒル恵	文学部 2年 （女子陸上競技部）	第100回 日本陸上競技選手権大会（混成競技） 第85回 日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ） 第95回 関東学生陸上競技対校選手権大会	七種競技（日本歴代2位/2連覇） 優勝 七種競技（2連覇） 優勝 女子100mハードル（2連覇） 優勝 女子七種競技（2連覇） 優勝
今村駿介	法学部 1年 （自転車競技部）	第85回 全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	男子エリート30kmポイントレース 優勝
宮本隼輔	経済学部 4年 （自転車競技部）	第72回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）	男子ケイリン 優勝 男子スプリント 優勝
西本拳太	法学部 4年 （バドミントン部）	第70回 全日本総合バドミントン選手権大会	男子シングルス 優勝

【体育賞】

長野凌生	文学部 1年 （水泳部）	第33回 日本身体障がい者水泳選手権大会	男子 50m自由形 S13 日本新記録 優勝 男子 100m自由形 S13 日本新記録 優勝
井上慎一郎	法学部 4年 （バレーボール部）	第69回 秩父宮賜杯 全日本バレーボール大学男子選手権大会（インカレ） 平成28年度 秋季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦	優勝 最優秀選手賞 優勝 最優秀選手賞
村上未紘	総合政策学部 3年 （自動車部）	平成28年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会	女子個人の部 優勝
五十嵐優	法学部 3年 （バドミントン部）	第67回 全日本学生バドミントン選手権大会（インカレ）	男子シングルス 優勝
田中右真	経済学部 3年 （軟式野球部）	第39回 全日本学生軟式野球選手権大会	優勝 最高殊勲選手賞

【努力賞】

上野太一	商学部 4年 （準硬式野球部）	平成28年度 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦	優勝 最優秀選手賞
太田晶子	法学部 4年 （自動車部）	平成28年度 全関東学生ダートトライアル選手権大会	女子個人の部 優勝
廣瀬正典	経済学部 2年 （自動車部）	平成28年度 全関東学生自動車運転競技選手権大会	男子小型乗用個人の部 優勝
加藤慎之助	総合政策学部 4年 （スケート部）	秩父宮杯 第64回関東大学アイスホッケー選手権大会	優勝 最優秀選手賞
坂本颯	法学部 3年 （スケート部）	平成28年度 関東大学アイスホッケーリーグ戦	優勝 最優秀選手賞
岩田優奈	法学部 1年 （女子陸上競技部）	第95回 関東学生陸上競技対校選手権大会	女子400m 優勝
橋本壮史	文学部 3年 （自転車競技部）	第57回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会	男子1Kmタイムトライアル 優勝

高野 こえだ	商学部 3年 (射撃部)	平成28年度 関東学生ライフル射撃選手権秋季大会 平成28年度 関東学生ライフル射撃選手権秋季大会	50m3×20w 10mS40W (2連覇)	優勝 優勝
新里 葉津紀	商学部 4年 (射撃部)	平成28年度 関東学生ライフル射撃選手権春季大会	50m3×20w	優勝
栗原 崇人	文学部 3年 (軟式野球部)	平成28年度 東都学生軟式野球春季リーグ戦		優勝 最高殊勲選手賞

【学長賞・優秀選手賞】

矢後 太規	法学部 4年 (相撲部)	ヘンブヒル 恵	文学部 2年 (女子陸上競技部)
砂間 敬太	法学部 3年 (水泳部)	今村 駿介	法学部 1年 (自転車競技部)
宮下 敬	総合政策学部 4年 (自動車部)	宮本 隼輔	経済学部 4年 (自転車競技部)
前岡 春花	経済学部 4年 (自動車部)	西本 拳太	法学部 4年 (バドミントン部)
蓑島 圭悟	法学部 2年 (スケート部)		

【学長賞・優秀監督賞】

松永 理生	バレーボール部	西山 博司	バドミントン部
池田 浩二	準硬式野球部	岩崎 正恭	軟式野球部
山口 聡	自動車部		

【学長賞・永年監督賞】

北澤 竜一	硬式庭球部
-------	-------

第 34 回 学員会会長賞

本賞は、在学生の士気の高揚を図り、本学の発展に寄与することを目的として、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて特に優秀な成果を収めた者に授与するものです。

【学術・文化・社会の分野】

川名 喜之他 5 名	法学部	論文「高齢者の経済力確保のための新提案～終身定期金契約型信託～」(公益財団法人トラスト未来フォーラム主催) 第3回学生懸賞論文において、テーマ「夢と希望ある社会の創造に向けた金融機関の役割」に対し、着眼点・論理性・独創性といった点を評価され第2等に入賞した。
佐々木 創ゼミ	経済学部	報告論文「バンコクにおける渋滞緩和及びCO2削減のための施策：駐輪場を用いたパークアンドライド」 富山大学経済学部で開催された研究論文報告会において、最優秀賞を受賞した。これに先立って実施された中央大学経済学部ゼミナール大会でも優勝している。同規模大学と比較しても、学内大会のレベルの高さを示し、学内のゼミ活動の活性化に繋がり、経済学部の広報効果としても高く評価できる。
和田 光平ゼミ チーム・ギズナ	経済学部	中央大学野島記念 Business Award2016において、森林・農作物被害の一因である鹿が駆除廃棄されている現状を踏まえて、鹿肉を付加価値の高い食材商品として顧客会員向けに宅配する事業を提案し、優勝ならびにオーディエンス賞を受賞した。
被災地支援学生 団体 ネットワーク はまぎくのつぼみ	商学部	ボランティア活動を行ってきた宮古市において、地道で誠実な支援により地元住民や行政機関と深い信頼関係を築き、震災から6年経って社会全般では被災地への関心が希薄になる中、希望の灯をともし続けている。 さらに近年始めた大学周辺での活動では、多摩平イオンモールでの物産展・写真展が大好評を博し、その結果地元OBの支援を得て日野市役所でのさらなる催しにつながるというように、近隣住民とOBを巻き込んだ波及効果を生み出している。
久保 友理恵	理工学部 4年	卒業研究では培養株の生理学的特徴づけとタンパク質解析であるナンキョクカワノリの生理学的研究に取り組み、栽培時の光強度、質(色)、温度等多岐にわたる培養条件を詳細に検討し、多くの実験を重ねた結果、その特徴を再現できる培養条件を見つけることができた。その努力の成果を認める。
高村 遼	文学部 4年	卒業論文「L'étude des marqueurs discursifs dans les manuels élémentaires au Japon」 言語学、社会学、教育の三領域に亘る専門性の高い、優れたものであり、理論と方法論を的確に使い日本の大学生と高校生に対してフィールドワークを行い、授業改善の具体的提言となる研究成果をあげた。
鈴木 崇允	総合政策学部 3年	第10回インドネシア語スピーチコンテスト(神田外語大学主催：インドネシア共和国在日本大使館後援)において、「アセアン共同体における、異文化理解の重要性」というテーマで最優秀賞を受賞した。
小松 優也	総合政策学部 2年	論文「『核の傘』の受益国連携体制による核兵器廃絶への道」 唯一の戦争被爆国でありながら厳しい安全保障環境のためジレンマを抱えている日本の核軍縮政策に対して、ユニークな発想で提言を行った点が優れており、外務省が発行する国内唯一の外交専門誌である『外交』が開催した、第4回外交論文コンテストにおいて佳作を受賞し、高い評価を得ている。

FLPジャーナリズムプログラム 松野良一ゼミ	FLP (ファカルティ・リネージ・プログラム)	戦後70年企画「中央大学と戦争」プロジェクトで制作した、ドキュメンタリー『元特攻志願兵』の証言が「地方の時代」映像祭 (NHK、民放連等主催) で奨励賞を受賞した。また、ドキュメンタリー『八王子空襲の謎』と『青い目の人形と戦争』が東京ビデオフェスティバルで入賞した。これらの活動が多くのマスメディアに取り上げられ、中央大学の名声を高めた。
電気工学研究部	学生会理工連盟	アマチュア無線コンテスト第58回 ALL JA コンテスト (一般社団法人日本アマチュア無線連盟JARL主催) において、電信電話部門マルチオペ オールバンド種目M部門で全国第1位の成績を収めた。当該コンテストは国内4大コンテストの一つとして位置づけられており、アンテナ、無線機、電波に関する知識と高い技術が要求され、本大会で部門優勝したことは日頃の勉強と研究の成果である。
野口 貴裕	法学部 5年	NP0法人「エドテックグローバル」に所属し、ルワンダの小学校においてIT教育を実施するプログラムの現地責任者としてIT及びリーダーシップ教育を実施し、紛争のない世界で活躍できるリーダーを育成するという目標に貢献したうえ、現在もクラウドファンディングによる資金の確保等の活動を行っている。本年3月には、その資金でルワンダの青少年への最先端IT/リーダーシップ教育プロジェクトを実施する予定である。
ボランティア団体 チーム防災	学生部 (ボランティアセンター)	東日本大震災の被災地での活動経験を基に、今後起こりうる災害に対して、自分の命と大切な人の命を守るように、「防災、減災」の視点から活動をしている。チームのモットーとして、「顔が見える関係を築き、自助・共助の力を高める」を掲げており、学内での活動に加え、地域の防災イベントに多く参加し、地域の幅広い年齢の方々と活動した結果、日野市社会福祉協議会より表彰を受けた。

【スポーツの分野 (団体)】

バレーボール部	第69回 秩父宮賜杯 全日本バレーボール大学男子選手権大会 (3連覇15回目) 平成28年度 秋季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦	優勝 優勝	
準硬式野球部	第68回 全日本大学準硬式野球選手権大会 平成28年度 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 (3季連続61回目) 第58回 関東地区大学準硬式野球選手権大会	優勝 優勝 優勝	
自動車部	平成28年度 全日本学生自動車連盟 年間総合杯 平成28年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会 平成28年度 全日本学生自動車連盟 関東支部年間総合杯 平成28年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会	男子団体の部 男子団体の部 男子団体の部 男子団体の部	優勝 優勝 優勝 優勝
バドミントン部	第67回 全日本学生バドミントン選手権大会 (インカレ)	男子団体	優勝
軟式野球部	第39回 全日本学生軟式野球選手権大会 平成28年度 東都学生軟式野球春季リーグ戦		優勝 優勝

【スポーツの分野 (個人)】

矢後 太規	法学部 4年 (相撲部)	第65回 全日本相撲選手権大会		優勝
砂間 敬太	法学部 3年 (水泳部)	第92回 日本学生選手権水泳競技大会 (インカレ)	男子200m背泳ぎ	優勝
宮下 敬	総合政策学部 4年 (自動車部)	平成28年度 全日本学生自動車連盟 年間総合杯 平成28年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会 平成28年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会 平成28年度 全日本学生自動車連盟関東支部 年間総合杯 平成28年度 全関東学生自動車運転競技選手権大会 平成28年度 全関東学生ジムカーナ選手権大会	男子個人の部 男子小型貨物個人の部 (2連覇) 男子個人の部 男子個人の部 男子小型貨物個人の部 男子個人の部	優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝
前岡 春花	経済学部 4年 (自動車部)	平成28年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会	女子小型乗用個人の部 (2連覇)	優勝
簗島 圭悟	法学部 2年 (スケート部)	第8回 アジア冬季競技大会 (2017/札幌)	アイスホッケー男子	3位
へんぷ 穂 恵	文学部 2年 (女子陸上競技部)	第100回 日本陸上競技選手権大会 (混成競技) 第85回 日本学生陸上競技対校選手権大会 (インカレ) 第95回 関東学生陸上競技対校選手権大会	七種競技 (日本歴代2位/2連覇) 七種競技 (2連覇) 女子100mハードル (2連覇) 女子七種競技 (2連覇)	優勝 優勝 優勝 優勝
今村 駿介	法学部 1年 (自転車競技部)	第85回 全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	男子エリート30kmポイントレース	優勝
宮本 隼輔	経済学部 4年 (自転車競技部)	第72回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (インカレ)	男子ケイリン 男子スプリント	優勝 優勝
西本 拳太	法学部 4年 (バドミントン部)	第70回 全日本総合バドミントン選手権大会	男子シングルス	優勝

【スポーツの分野 (OB)】

飯塚 翔太 ミズノ	陸上競技部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	陸上競技	男子400mリレー 男子200m	2位 日本代表
大澤 陽祐 H o n d a	陸上競技部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	陸上競技	日本代表コーチ	

小長谷研二 岐阜県職員 岐阜西スポーツ クラブ	水泳部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	水泳/競泳	競泳男子400mリレー 8位
塩浦慎理 株式会社ナガセ イトマン東進	水泳部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	水泳/競泳	競泳男子400mリレー 8位 競泳男子50m自由形 日本代表 競泳男子100m自由形 日本代表
羽野一志 NTTコミュニ ケーションズ 株式会社	ラグビー部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	7人制ラグビーフットボール	4位
鈴木貴弘 米沢スキークラブ	スキー部OB	第28回 ユニバーシアード冬季競技大会 (2017/アルマティ)	スキー/クロスカントリー	男子4×7.5kmリレー 4位
神崎信彦 ライフアンド ファイナンス	スキー部OB	第28回 ユニバーシアード冬季競技大会 (2017/アルマティ)	スキー/アルペン	日本代表コーチ
蛭沢克仁 ソニー生命保険	スキー部OB	第8回 アジア冬季競技大会 (2017/札幌)	スキー/クロスカントリー	日本代表監督
山室忠 全日本スキー連盟	スキー部OB	第8回 アジア冬季競技大会 (2017/札幌)	スキー/クロスカントリー	日本代表コーチ
吉田圭伸 自衛隊	スキー部OB	2017年ノルディックスキー世界選手権大会 (2017/ラハティ)	スキー/クロスカントリー	日本代表選手
廣川充志 桐蔭横浜大学	柔道部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	柔道	日本代表コーチ
大戸淳之介 特定非営利法人日 本パラローイング 協会	ボート部OB	リオデジャネイロパラリンピック競技大会	ボート	日本代表ヘッドコーチ
飯島誠 ブリヂストンサイ クル株式会社	自転車競技部OB	リオデジャネイロオリンピック競技大会	自転車	日本代表コーチ
室屋義秀	航空部OB	レッドブルエアレース・ワールドシリーズ第3戦		優勝
山下敏和 自衛隊体育学校	射撃部OB	ワールドカップ・ニューデリー大会 リオデジャネイロオリンピック競技大会	50m Prone (ファイナル世界新記録) 射撃/ライフル射撃	優勝 日本代表 日本代表 日本代表

第 1 回 学員会会長奨励賞

本賞は、在学生の士気の高揚を図り、本学の発展に寄与することを目的として、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与する学員会会長賞に準ずる者に授与する。

【学術・文化・社会の分野】

和田光平ゼミ チーム・ミニダイ バーシテイ	経済学部	中央大学野島記念 Business Award2016において、高齢化するセクシャルマイノリティ (LGBT) の人々の老後の生活に着目しサービス付き高齢者向け住宅展開事業を提案し、準優勝した。
野澤 駿 豊田 健太	理工学部	(公社) 日本設計工学会主催及び (一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) 三次元CAD情報標準化委員会後援の設計コンテスト2016にて優勝した。コンセプトから作り始め、設計仕様にも重点を置いた身近な事務機製品の外装ユニットをJEITAが規定した普通幾何公差を十分に理解し、活用して三次元CADで設計した。3DA規格の妥当性の検証や普及のみならず中央大学の名声向上にも大きく貢献した。
浅井 大樹	理工学部 4年	1年次から中央大学理工白門祭実行委員会に所属し、2013年度の白門祭においてサイエンスショーの企画を担当し、それを一新して白門祭を大いに盛り上げ、その後も企画長、企画顧問として企画の監督を行ってきた。また、文京区を活動拠点とする吹奏楽団 東京ウィンドアンサンブルに打楽器奏者として参加し演奏会を行う一方、その練習場所としている中学校の生徒にコンクールに向けた練習の指導をし地域にも貢献している。
岩本 茉莉	理工学部 4年	卒業研究において、非常に培養が難しいアンモニア酸化細菌の培養に成功し、それを用いての研究成果を本年3月大学院生と共同で第11回日本ゲノム微生物学会において「好気性アンモニア酸化細菌による好気条件でのhybrid N20 生成経路の検討」として発表予定である。これは、学部学生の成果としては際立っており、さらには、常に物事をやり遂げる姿勢は本校の模範となる。
久保田 祥平	理工学部 4年	在学中の通算GPAでトップクラスの成績を維持し続け、さらに在学中に国家資格である技術士一次試験 (経営工学部門) に合格している。また、卒業研究ではコンジョイント分析による商品評価と実商品による評価の一致性についての研究をおこない、大変高い評価を得ている。

澁澤 朱音	理工学部 4年	論文「Precious metal-like oxide-free copper nanoparticles: high oxidation resistance and geometric structure」 研究成果の集大成を英・王立化学会誌の RSC Advances に発表し高い評価を得ている。また、最新成果について、日本化学会第97春季年會にて「層状粘土鉱物の分散液を利用した銅ナノ粒子の合成およびその粒径制御」として講演するなど著しい活躍をしている。
清水 啓太	理工学部 4年	理工学部の都市環境学科にて成績優秀者対象の給付型奨学金を獲得するなど、優秀な成績を収めており、研究室でも昼夜を問わず研究に打ち込んでいる。研究室内のグループワークでは、率先して他の学生をまとめており、周囲の学生からも高く評価されている。
芹澤 伽那	理工学部 4年	研究発表「Fe-Co-B 合金薄膜の構造と磁気特性に及ぼすB組成と膜形成温度の影響」 (社)電子情報通信学会が主催する専門研究会で発表し、予稿の書き方・研究内容・発表態度・質疑応答・発表資料が優秀であると認められ、受賞者が博士課程後期課程や修士課程学生を受賞者が殆どの中で、専門研究会委員長賞を受賞した。また、昨年4月より取り組んだ卒業研究は、9月に開催された日本磁気学会学術講演会で発表し高評価を受けた。さらに、本年4月には、磁性分野最大の国際会議 (Intermag-2017, Ireland) で英論文発表を行う予定である。
豊田 将平	理工学部 4年	独自の発想を生かして既存の知識・技巧を組み合わせることによりIT・セキュリティの分野で卓越した才能を発揮し、技能的な能力に加えて学業成績も優秀であり、2016年「中央大学学長賞」を受賞した。さらにその能力を学外でも発揮し、学外イベント・コンテストで優秀賞や最優秀賞を受賞し、本学学生の底力を学内外に示した。
岡庭 有明	理工学部 3年	数物セミナーや総合研究大学院大学物理科学研究科融合科学専攻の夏の体験入学に参加するなど、教科外でも積極的に研鑽を積んで優れた向上心と学力を身につけている。物理の基礎をしっかりと学んだ上で、生物物理学の分野を切りひらこうとしており、大学院に進学して物理学専攻内の学術的レベルの向上に寄与してくれることが期待される。
阿部 祐菜	理工学部 2年	学業および課外のスポーツ活動共に優れ、今年秋季の交換留学生に選抜されると同時に、昨年度開かれた一輪車の世界大会に日本代表として出場している。他学生の範となる業績である。
小貫 寛哲	総合政策学部 3年	総合政策学部主催2016年度「第4回リサーチ・フェスタ」において「イスラームの社会的役割：インドネシアの洪水時の救助活動を通して」というテーマで発表を行い、最優秀賞を獲得した。同発表は、同じく2016年度「プロジェクト奨学金」の補助を受けた研究で、インドネシア語を使用して現地調査を行うなど質の高い研究成果を提示した。学業に向き合う姿勢は、真摯で他の学生の模範となっている。
南 琴里	総合政策学部 3年	うわの空・藤志郎一座本公演舞台「ただいま!」の紀伊国屋サザンシアター、名古屋七ツ寺共同スタジオ大阪ABCホールにてヒロインを務めた。
和田 ユリ花	総合政策学部 3年	外交官の父を持ち在在外経験を活かし、本学部のチャレンジャーズプログラム(英語で専門を学ぶプログラム)をたった一人、見事な成績で修了した。さらに、スキルアップした英語を使いニュージーランドのサブカルチャー研究者Dr Rosemary Overellの講義の日本語訳をおこなったほか、入学式の「歓迎の辞」を英語でスピーチした。
中村 俊太 他 2 名	総合政策学部	経済産業省の提唱で実施された社会人基礎力育成グランプリ関東地区大会において「グローバル社会人基礎力養成に於ける形式知と暗黙知の融合について」という発表を英語で行い奨励賞を受賞した。海外の国際会議に英語で論文を投稿して審査を通過し英語で発表を行って来た。また、学部で毎年実施しているニューヨーク研修に参加しコロンビア大学、PwC、Bloomberg等にて講義・ディベート等を経験し会得した暗黙知と形式知とを融合し実践知としての知識の運用能力を身につけてグローバルに活躍できる基礎力を会得した事を高く評価された。
Kruakai	総合政策学部	文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」東日本第2ブロックが主催する「グローバル人材育成フォーラム2016」で実施された「学生英語プレゼンテーション大会」に出場し、タイ短期研修で見聞してきた貧困層の現状をもとにスラムの防災意識の改善について英語で提案し、予選会を通過、本選でも3位の成績を修めた。
FLP 地域・公共 マネジメント プログラム 黒田 絵美子ゼミ	FLP (ファカルティ・ リンケージ・プログラム)	パルTAMAフェス2016 (主催・公益財団法人多摩市文化振興財団)において、参加希望者に布製バッグを無料配布しゼミ生が作成したオリジナルスタンプを使って参加者が独自のデザインのバッグを完成させるという「『ペタxんぷ』〜世界に一つだけのオリジナルバッグを作ろう!!〜」を実施し、参加者総数1500人超で地域活性に大いに役立つ企画であった旨、主催者より賞賛された。

第 18 回 法曹会賞

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績を挙げた卒業生に対して授与するものです。

大 川 新	法学部 4年	在学4年次に平成28年度司法試験合格
林 康 碩	法学部 4年	在学4年次に平成28年度司法試験合格
豊 富 育	法学部 4年	在学4年次に平成28年度司法試験合格

第 31 回 南甲倶楽部賞

本賞は学員会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にて学問研究、文化活動、体育活動及び社会活動などの分野において顕著な成果を挙げ、本学の名声を高めると共に本学の発展に寄与した者を対象に授与するものです。(南甲倶楽部は実業界で活躍するOBが組織する団体)

三 浦 知 草	法学部 4年	法学部卒業生の中で在学中の学業成績が優秀でありかつ所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員及びゼミ生からの信頼も厚い。
蔭 山 実 萌	経済学部 4年	学業成績が極めて優秀であり、学長・学部長賞奨学金制度における学部長賞奨学生にも採用されている。また、経済学部の学生記者として、経済学部及び経済学部生の活動PRにも貢献した。オープンキャンパスにおいては、高校生の進学相談を担当するなど、学部学生の模範となるに相応しい。

山中 拓	商学部 4年	本年度商学部卒業生の中で学業成績が優秀であり、難関とされる公認会計士試験に在学中に合格した。
東 祐 太 朗	理工学部 4年	中央大学体育連盟ボート部に所属し、日頃の鍛錬により全日本大学選手権等の全国大会において優秀な成績を収め、中央大学の名声向上に大きく貢献した。また学業との両立を成し遂げ、単位取得が困難な理工学部精密機械工学科において、ロボットなどの機械分野で国際社会に貢献するエンジニアとなるための素養を身につけ優秀な学業成績を収めた。卒業後の活躍が大いに期待できる。
花 岡 里 帆	文学部 4年	真面目に勉学に励み、優秀な成績を収めてきた学生である。2年次の春休みにはDAAD（ドイツ学術交流会）の奨学金を得てドイツのフライブルク大学へ1か月間短期留学し、大学では大学院科目を受講するなど、積極的に研究活動に取り組んだ。また、卒業論文「W.G.ゼーバルト『アウステルリッツ』における語り的手法— 過去への眼差しをめぐって —」は、専攻内でも特に優秀な論文として評価されている。卒業後は本学で学んだことを活かし、社会に貢献してくれる有意な人材になると確信できる。
中 川 静 香	総合政策学部 4年	個人研究・卒業論文の執筆、グループワーク等の発表、ゼミ合宿の準備・報告書の作成等、学業とゼミ活動全般に熱心に取り組み、優秀な成績を残した。3年次に執筆した「日本のスマートメーター普及に関する考察—オランダにおける導入法案否決を事例に—」では日本人のエネルギー消費に対する考え方や行動がスマートメーターによって変化する可能性を検証し、また、プライバシー及びセキュリティの観点から導入義務化を見送ったオランダの事例を通じて日本での導入促進に際して消費者が注視する必要性について提言した。また卒業論文では、2年次夏より1年間留学していたオーストラリア（南オーストラリア州フリンダース大学）での研究を踏まえ、「行動変容の理論から読み解くオーストラリアにおける自発的交通行動変容(VTBC)プログラムの効果と展望—アデレードにおけるTravelSmartを事例に—」を提出した。ここでは、3年次の問題意識をさらに掘り下げ、留学先で実感した大量消費社会における個人の意識・行動に対する疑問から、意識変容を促す政策を検証している。更に、環境プログラムのFLPでハリスン教授のゼミを履修し、留学先で学んだ水管理政策をテーマとした卒業論文「Water management in Murray Darling Basin -Automated meter reading as a countermeasure for the future droughts-」も執筆しており、環境問題を主テーマに留学先での学びや生活体験に基づいた問題意識を交えながら研究論文としてまとめる等、極めて熱心に勉学に励んできた。さらには学業外でも活発で、学友会体育連盟合気道部に所属し2段を取得している他、中央省庁が主催するインターンシップ（農水省や内閣官房内閣人事局、財務省国税庁主催）にも積極的に参加しており、将来は留学経験で培った語学力を生かし、国際事業に携わる仕事に就くことを目指し、株式会社ジェーシービーに就職が決まっている。学力、人物、行動力と申し分なく、社会人として大いなる活躍が期待できる。

第 12 回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

苗 鳳 科	大学院文学研究科 博士課程前期課程 国文学専攻	日本の近現代文化、特に村上春樹作品の中国受容の研究をおこなった。同研究テーマは過去に多くあったが、量的調査に偏り、『ノルウェイの森』翻訳当時の年長読者の動向研究が中心であった。その中で、より若い世代の読者を中心に、村上春樹受容の調査と考察をおこなった。これは、日本文化の特色と中国読者の動向の両方に通じている必要があり、大変困難な課題だがみごとに成果をあげた。
-------	-------------------------------	--

第 3 回 東京白門ライオンズクラブ法務研究科学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、将来法曹として活躍が期待される人材の育成に資することを目的として、社会実務等の経験を有して法務研究科に入学し、在学中の業績が顕著と認められた学生に授与するものです。

小 松 真 理	大学院法務研究科 専門職学位課程 法務専攻	社会人学生として既修者コースに入学し極めて優秀な成績を修めている学生である。長く国税庁に勤務し、その間に不動産鑑定士試験にも合格した有為の人材である。我が国の経済を支える中小事業者を支援したいという明確な目的をもって法科大学院を志願したものであり、将来は、税務・不動産鑑定の実務経験を有する法曹として所期の目的を達成することが期待される。
---------	-----------------------------	---